

社協だより

# いずも

社会福祉法人  
出雲市社会福祉協議会

IZUMO

つながる ひろがる  
ささえあう

vol.

135

7月・  
8月号

令和3年8月20日発行



7月6日からの大雨により被害を受けられた住民の皆様には心よりお見舞い申し上げます。  
出雲市災害ボランティアセンターでは、被災された方を支援するため活動してまいりました。  
ボランティアの皆様をはじめ多くの皆様のご支援ご協力を厚くお礼申し上げます。

## TOPIC!

新たな役員体制がスタートしました

令和2年度事業報告

令和2年度決算報告

- ・心配ごと、悩みごと相談の中止について
- ・令和3年度出雲市総合社会福祉大会
- ・災害義援金のお知らせ
- ・生活福祉資金貸付制度のご案内
- ・ご寄附ありがとうございます
- ・職員採用試験について
- ・地域支え合いフォーラム
- ・ボランティアきっかけ講座
- ・広報音訳ボランティア養成講座



# 新たな役員体制がスタートしました

このたび、新たな役員体制となりましたので、理事・監事・評議員をご紹介します。

## ごあいさつ

### 会長



渡部 英二

(元出雲市総務部長  
旧出雲市福祉部長)

### 出雲市社会福祉協議会への役割・活動へのご理解とご支援を

6月に開かれた評議員会、理事会で、引き続き出雲市社会福祉協議会（出雲市社協）の会長を務めることとなりました。よろしくお願いいたします。

市は、介護保険のサービスや障がい者福祉サービスなど、法制度に基づく公的福祉を担いますが、社会福祉協議会は、法制度にはなくても住民の安心な暮らしのために必要な仕事を担います。たとえば、高齢の一人暮らしで金銭管理等が難しくなったような場合、出雲市社協がサポートします。このように、公的制度の隙間を埋めて、生活において困った人の相談に応じ、対応していきます。

昨年から新型コロナの影響が社会のあらゆる分野に及んでいますが、出雲市社協でもあらたな生活課題への対応が必要になり、生活相談や生活福祉資金貸付相談への対応、さらに緊急食糧支援においては延べ900人の方に食料や日用品の支援に取り組んできました。

このような取組や活動は、市民のみなさんからの会費や寄付金（香典返しなど）によって支えられています。出雲市社協に対する、みなさんのご理解、ご支援を心からお願い申し上げます。

### 副会長



齋藤 茂子

(島根県立大学名誉教授)

昨今においては、保健医療福祉の領域が総合的に展開されるようになり、縦割り行政の是正、そして地域におけるネットワーク志向の高まりとともに関係者、関係機関のつながりが重要視されるようになりました。

市民の方々の生活支援や健康支援については、益々きめ細やかな対応が求められています。私も出雲市社会福祉協議会のスタッフの皆様とともに、第一には、総合相談体制の充実と機能強化について注視していきたいと考えています。

市民の皆様には、まだまだ本会の存在が認識されにくい状況にありますが、日常生活や社会生活において、お困りのことがあれば、お気軽にご相談ください。相談するという何気ない行動は、セルフケアの能力といわれており、大切な行動の一つです。併せて感染症対策や防災・減災対策についての知恵と行動が必要です。

私は引き続き副会長として情報把握に努め、会長を補佐しつつ任務を果たしてまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

### 副会長



吉田 明弘

(元出雲市大社支所長  
社会福祉分野の有識者)

### 『共に悩み、共に歩む』

この度、副会長再任という大役を仰せつかり、責務の重大さを痛感しています。また、隔月発行の「社協だよりいずも」を通じてお目にかかる方とのご縁に感謝しています。

さて、私たちを取り巻く情勢は、地球温暖化、自然災害、貧困格差といった深刻な諸問題等が山積しております。更に追い打ちをかけ、今や新型コロナウイルス感染症という未知のウイルスと戦っています。

本会では、社会の変化がもたらす諸課題等について、各種のネットワークを活かし、「安心づくり」「地域づくり」「人づくり」を三本柱とし重点事業の推進をはかっています。

また、地域の皆様方からいただいた会費は、「日常生活自立支援事業」や「生活困窮者自立相談支援事業」等の専門性をもった活動の財源や、「地区社協の活動」や「高齢者ふれあいサロン事業」の助成金として地域に根差した活動に充てています。

相手の苦しみや悲しみを自分のこととし、共に悩み、歩む生き方を大切にしていきたいと思います。人は一人では生きていくことはできません。それ故に、ご縁をいただく人や物や、あらゆる物に支えられ、生かされ、繋がっていきます。その一つひとつに心をめぐらせ、分かち合い、喜び合い、悲しみ合いながら、豊かな人生を作り上げていきたいものです。

今後とも変わらぬご支援、ご協力をお願いします。



常務理事



大森 康正  
(出雲市社会福祉協議会  
前事務局長)

理事



阿食 かをる  
(社会福祉法人金太郎の家  
理事長)

理事



荒木 尚司(新)  
(特別養護老人ホーム万田の郷  
施設長)

理事



岡 賢治  
(前出雲市保護司会  
事務局長)

理事



岡 眞悟  
(出雲市健康福祉部長)

理事



川瀬 英  
(社会福祉法人ひらた福祉会  
理事長)

理事



柳楽 紀美子  
(出雲市民生委員児童委員協議会  
副会長)

理事



柳楽 好美  
(障がい者自立支援事業所  
ぼんぼん船管理者)

理事



常陸 実  
(社会福祉法人ひまわり福祉会  
理事長)

理事



玉田 珠美(新)  
(社会福祉法人親和会理事長)

理事



堀西 雅亮  
(島根県外国人地域サポーター)

理事



渡部 勝(新)  
(社会福祉法人やまゆり理事長)

監事

飯塚 眞治(新)  
馬庭 隆  
森脇 慶昌

評議員

芦矢 京子(新)	石飛 正登	石橋 正伸(新)
江角 英子	岡並 るみ子	小村 和恵
勝部 正	河瀬 京子	川光 栄子(新)
新藤 優子(新)	高橋 庸(新)	多久和 祥司(新)
竹下 茂	西 郁郎	原 敏明(新)
福場 由紀子(新)	堀川 博	三島 幸枝(新)
矢田 栄子(新)	山口 史子	

※敬称略

任期

理事・監事 (令和3年6月25日～令和5年の定時評議員会の終結の時)

評議員 (令和3年6月25日～令和7年の定時評議員会の終結の時)



# 令和2年度 事業報告

## 主な事業を紹介

新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、「安心づくり」「地域づくり」「人づくり」を柱とした事業に取り組みました。

### 安心づくり

さまざまな福祉課題を抱える人に寄り添い、支援に取り組みました。住民や関係機関と連携した支援体制の強化に努め、その人らしい生活の実現を図りました。また、新型コロナウイルス感染症の影響によりお困りの方への緊急的支援を実施しました。

### 地域づくり

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの地域福祉活動が中止・延期を余儀なくされました。コロナ禍においても地域の支え合いの取組が進められるよう支援に取り組みました。

### 人づくり

地域で福祉活動に参加する人を広げるために、研修事業に取り組みました。また、福祉への関心を高め、理解を広げるために学校や企業などで福祉教育の取組を推進しました。

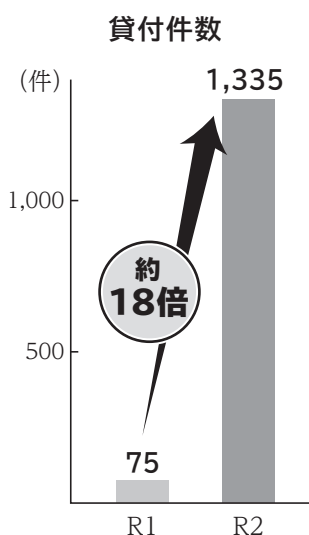
## 安心づくり

### 生活支援課

生活や経済的な困りごとを抱える方への相談に応じ、一人ひとりの状況に合わせて解決策を考え支援を行いました。

- 地域生活相談事業
- 自立相談支援事業
- 就労準備支援事業
- 生活福祉資金貸付事業
- 家計改善支援事業
- 生活物品支援事業
- 民生融金貸付事業

生活にお困りの方の経済的自立や生活意欲の助長を図るため、生活福祉資金の貸付をしました。また、新型コロナウイルス感染症による休業や失業で生活資金にお困りの方へ緊急小口資金及び総合支援資金の特別貸付をしました。





## 高齢者あんしん支援センター

高齢者（65歳以上の方）が住み慣れた地域で自分らしい自立した生活を継続できるよう支援を行いました。

- 相談対応 8,829件
- 成年後見・虐待・困難事例などの対応 378件
- 介護予防普及啓発
- 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント
- 地域ケア会議の開催

## いずも権利擁護センター

認知症や知的障がい、精神障がいのある方などで権利侵害を受けやすい方が地域で安心して生活できるよう支援を行いました。

- 日常生活自立支援事業  
相談対応・支援件数 9,175件
- 法人後見事業  
相談対応・支援件数 974件
- 障がい者入居債務保証事業
- 財産保全サービス事業
- 市民後見推進事業

## 多機関協働による総合的な相談支援

令和2年10月1日から、出雲市による「出雲市総合相談事業」の一部を受託しました。複雑化・多様化した生活課題について多くの機関が連携・協働しながら支援を行いました。

## 新型コロナウイルス感染症の

## 影響を受けた方に対する支援

- オンライン福祉相談の開設
- 緊急フードドライブ事業

地域住民や企業の皆さまからお寄せいただいた食品や日用品を、経済的に困りの方へ提供しました。

皆さまの  
あたたかいお気持ちを  
延べ530人のもとへ  
お届けすることが  
できました。  
ありがとうございました。



## 地域住民の主体的な福祉活動の推進

# 地域づくり

- 地区社会福祉協議会等活動総合支援事業  
41地区社協の福祉活動に1,455万3,896円助成しました。

子どもの居場所づくり（子ども食堂等）、地域住民による助け合い活動の新たな取組を重点的に支援しました。

- 福祉団体活動助成事業  
21団体に597万円を助成しました。

- ふれあいサロン活動助成事業  
55団体のサロン活動に2,478万8,021円助成しました。

新型コロナウイルス感染症の対策や他団体の様子を伝え、活動再開に向け支援しました。



## 地域住民等の参加と協働による 福祉のまちづくりの推進

● 認知症高齢者等SOSメール安心ネットワーク事業

● 出雲市生活支援体制整備事業

・ 地域における支え合いの体制づくり

・ 生活支援サービスの充実

● 住民参加型在宅福祉サービス事業

・ たすけあいボランティア事業

・ すこやか訪問事業

● 共同募金歳末助け合い事業



## 福祉サービスの提供

● 車いすの貸出事業

● ガイドヘルプ事業



## 人づくり

### ボランティア活動の促進

● ボランティア・まちづくりセンター運営

### ボランティア活動に参加する人の拡大

● ボランティア講座（全2回）

新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティア活動が自粛、縮小するなか、活動の再開または今後活動を始めたい方等へのきっかけづくりとして講座を開催しました。

### 福祉教育の推進

● 福祉学習支援

実施回数 55回

参加者 2,187人

● あいサポート運動推進事業

実施回数 41回

参加者 1,814人

● 災害ボランティア活動の支援

出雲市及び出雲市総合ボランティアセンターと共同で災害ボランティアセンター設置運営の訓練を行いました。

## 法人運営

● 法人運営事業

● 広報紙「社協だよりいずも」の発行

● 音訳広報発行事業

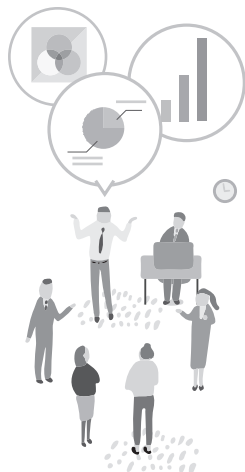
● 点訳広報発行事業

● ホームページの運営管理

● 地域福祉活動計画推進事業

● 災害見舞への取組

● 会館管理

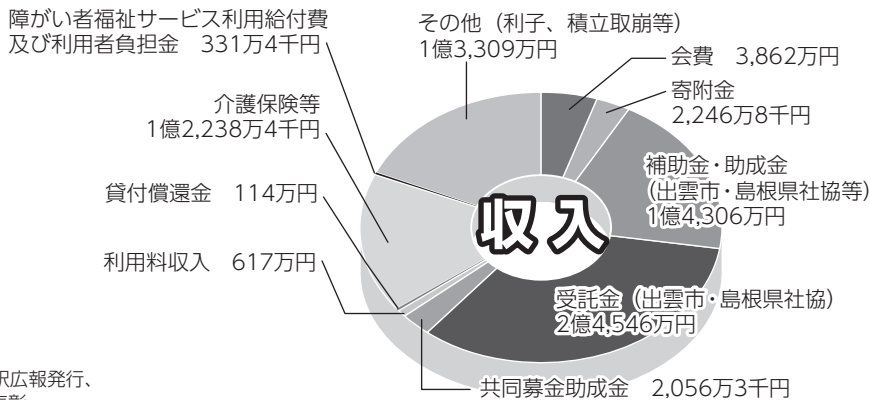


令和2年4月1日～令和3年3月31日

決算額

7億3,626万9千円

令和2年度  
決算報告



企画広報

(社協だより、ホームページ、音訳広報発行、地域福祉活動計画、福祉大会・表彰、総合相談事業等) 1,743万1千円

ボランティア・まちづくりセンター (ボランティア・まちづくりセンター運営事業、研修会等) 397万6千円

次年度へ繰越 5,599万2千円

令和2年度の寄附金を令和3年度事業の財源として活用するための積立 2,227万6千円

法人運営事業 (役員会、役員人件費、事務費等) 1億3,595万4千円

施設管理事業 (出雲市社会福祉センター、平田福祉館、多岐地域福祉センター) 2,335万円

高齢者あんしん支援センター 2億8,354万4千円

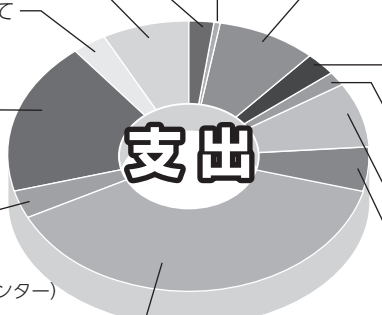
地域福祉 (生活支援体制整備事業、福祉団体・ふれあいサロン・地区社協への助成、多岐・湖陵・斐川地域見守りネットワーク事業、車イス貸出事業、福祉教育等) 6,519万5千円

共同募金 (福祉団体・ふれあいサロン・地区社協への助成、認知症高齢者等SOSメール、点訳広報発行、歳末たすけあい事業等) 2,057万3千円

在宅福祉 (たすけあいボランティア事業、養育支援訪問事業におけるヘルパー派遣業務、ガイドヘルプ事業) 1,236万6千円

生活支援課 5,731万1千円

いずも権利擁護センター 3,830万1千円



貸借対照表

(単位：千円)

(単位：千円)

借方	
科目名	金額
《資産の部》	
流動資産	95,926
現金預金	71,137
事業未収金	23,197
未収金	7
未収補助金	161
立替金	1
前払費用	296
預け金	1,127
固定資産	904,970
基本財産	53,877
定期預金	9,000
建物	44,877
その他固定資産	851,093
土地	11,294
建物	55,280
車両運搬具	1,901
器具及び備品	1,350
ソフトウェア	125
貸付事業資金貸付金	952
長期預け金	121,293
退職給付引当資産	67,344
福祉事業積立資産	396,528
センター建設積立資産	200,000
権利擁護積立資産	112,311
助成積立資産	84,217
寄附金積立資産	80,768
修繕積立資産	81,004
たすけあいボラ積立資産	1,528
人件費積立資産 (ガイド)	1,000
運営資金積立資産 (包括)	6,500
地域包括推進事業積立資産	24,226
資産の部合計	1,000,896

貸方	
科目名	金額
《負債の部》	
流動負債	39,933
事業未払金	10,401
その他の未払金	606
未払費用	7,778
預り金	19,316
職員預り金	1,714
前受収益	118
固定負債	214,744
退職給付引当金	214,744
負債の部合計	254,677
《純資産の部》	
基本金	9,000
国庫補助金等特別積立金	45,860
福祉事業積立金	396,528
センター建設積立金	200,000
権利擁護積立金	112,311
助成積立金	84,217
寄附金積立金	80,768
修繕積立金	81,004
たすけあいボラ積立金	1,528
人件費積立金 (ガイド)	1,000
運営資金積立金 (包括)	6,500
地域包括推進事業積立金	24,226
次期繰越活動増減差額	99,805
うち当期活動増減差額	11,179
純資産の部合計	746,219
負債及び純資産の部合計	1,000,896



## 心配ごと、悩みごと相談の中止について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため当面の間、一般相談は中止します。仕事のこと、生活のことなどの困りごとについて、随時、職員が相談に応じます。

また、オンライン福祉相談も行っております。ご自宅からオンラインで対面相談ができますので、詳しくはホームページをご覧ください。

問合せ先／生活支援課 ☎23-3790

令和3年度

## 出雲市総合社会福祉大会

- 日時：9月17日(金) 13:30~14:20
- 会場：出雲市民会館 大ホール
- 内容：式典

(長寿のお祝い、社会福祉功労者の表彰)

※今年度は**参加者を被表彰者のみ**とさせていただきます。ご了承ください。

問合せ先／総務課企画係 ☎23-3781

## 災害義援金のお知らせ

名 称	募 集 期 間
平成30年 7 月 豪 雨 災 害 義 援 金 (これまでの送金額 2,082,819円)	令和4年6月30日まで ※岡山県、広島県、愛媛県のみ
令和2年 7 月 豪 雨 災 害 義 援 金 (これまでの送金額 1,213,621円)	令和4年3月31日まで ※福岡県、熊本県のみ
令和3年 2月福島県沖地震災害義援金 (最終送金累計額 9,093円)	受付終了
令和3年 島根県松江市大規模火災義援金 (最終送金累計額 112,402円)	受付終了
令和3年 7 月 大 雨 災 害 義 援 金	令和3年10月31日まで
令和3年 7月島根県大雨災害義援金	令和3年9月30日まで

あたたかいご支援  
ありがとうございます。



日本赤十字キャラクター

ハートちゃん

問合せ先／日本赤十字社島根県支部出雲市地区 (事務局 出雲市社会福祉協議会 本所・各支所)

## 生活福祉資金貸付制度のご案内

低所得世帯や障がい者世帯、高齢者世帯に対し、自立を図ることを目的に資金を貸し付ける制度です。

### 総合支援資金

失業などで日常生活全般に困難を抱えている低所得世帯に対し、生活の立て直しのために継続的な相談支援を行い、生活費などを貸し付ける資金。

### 福祉資金

低所得世帯、障がい者世帯または高齢者世帯の経済的自立及び社会参加、在宅福祉の推進のために、一時的に必要なであると見込まれる費用を貸し付ける資金。

### 緊急小口資金

緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に貸し付ける少額の資金。

### 教育支援資金

低所得世帯に対し、高等学校、大学などへ就学するために必要な経費を貸し付ける資金。

- 教育支援費
  - (1) 高等学校 (専修学校高等課程を含む)
  - (2) 高等専門学校・短期大学 (専修学校専門課程を含む)
  - (3) 大学
- 就学支度費  
入学に必要な経費。

### 不動産担保型生活資金

低所得の高齢者世帯に対し、居住用不動産を担保とし生活費を貸し付ける資金。

◎詳しくは、お住まいの地区の民生委員または下記窓口にご相談ください。

### 災害援護の経費 (低所得者世帯) について

災害を受けたことによる困窮から自立更生するのに必要な費用を貸し付けます。詳しくはお問い合わせください。



問合せ先／生活支援課 ☎23-3790 または 各支所





# ご寄附 ありがとうございます

令和3年5月11日～7月10日受付分（敬称略）

\*出雲市社会福祉協議会ではご寄附いただいた方のご意志を尊重し、氏名等を掲載しています。なお、金額は掲載しませんのでご了承ください。

## 見舞返し

<平田>

十六島町 山根 明美

## 香典・玉串料・お花料等返し

( )内は故人

<出雲>

今市町 岡田 允子(紀民)  
今市町 原田 明成(玲子)  
今市町 大念寺(曾田 文雄)  
津和野町 板倉 良一(夕へ子)  
大津朝倉 影山 京子(政雄)  
上塩冶町 須山 智(林吉)  
古志町 太田 均(功)  
古志町 高橋 徹(幹雄)  
小山町 原 啓二(豊三)  
大塚町 田村 勇(富子)  
里方町 山崎 賀裕(榮子)  
武志町 松井 功(淑子)  
武志町 山口 梅香(満明)  
上島町 嘉本 久仁男(フミ子)  
野尻町 飯島 昭人(美代子)  
稗原町 高野 正次(大三)  
宇那手町 堂田 幸子(栄)  
馬木町 佐野 徹(倫子)

<平田>

平田町 伊藤 孝久(綾子)  
平田町 森脇 栄(澄江)  
平田町 橋本 寿久(國子)  
平田町 湯村 秀行(昭三)  
平田町 加藤 啓太(篠原 修蔵)

平田町 福間 進(繁子)  
灘分町 長廻 理代(智幸)  
灘分町 福田 誠一(満枝)  
島村町 長岡 真吾(武)  
西代町 玉木 淳二(勇)  
口宇賀町 北村 照夫(美智恵)  
西郷町 郷原 恵智子(好子)  
万田町 安食 晴美(銀蔵)  
奥宇賀町 伊路見 直子(昭子)  
河下町 荒木 隆(カネ子)  
東郷町 藤江 豊(正夫)  
東郷町 常松 泰雅(協)  
東福町 常松 久志(和子)  
上岡田町 土江 広幸(澄夫)  
岡田町 南場 道夫(直美)  
多久谷町 田中 哲夫(律子)  
多久町 遠藤 豊(慶子)  
園 町 坂本 良治(和子)  
園 町 高村 文明(洋子)  
園 町 坂本 隆恵(榮市)  
鹿園寺町 吾郷 均(弘吉)  
小境町 堀内 貴義(キヨ子)  
小境町 長崎 誠(トシエ)  
小境町 梶谷 基雄(艶子)  
小津町 小村 宗明(栄子)  
十六島町 錦織 和弘(兼子)  
十六島町 岡 佳津彦(禮子)  
小伊津町 金築 麻衣子(武志)  
小伊津町 熱田 みさ子(俊治)  
坂浦町 南場 俊輝(テル工)  
美野町 原田 美芽(隆志)

<佐田>

朝原 森山 繁(キク工)  
反 辺 桐原 敬治(トキ子)  
高津屋 大野 琴美(キク工)

<多伎>

小田 山本 寿登(蓉子)  
小田 山根 道子(若子)  
多岐 中尾 政之(寿恵子)  
多岐 平岡 美佐江(千昭)  
久村 福庭 純雄(毅)

<湖陵>

常楽寺 立花 孝雄(幸子)  
常楽寺 今岡 慎吾(臣榮)  
三部 中尾 勝子(好雄)  
二部 今若 繁行(利恵)

<大社>

遙 堪 松井 研治(信正)  
入南 飯島 教行(康郎)  
入南 足立 久夫(正夫)  
北荒木 伊藤 正次(翠)  
北荒木 青木 陽(稔)  
北荒木 飯島 博明(節三)  
杵築南 糸賀 隆志(久次郎)  
杵築南 高塚 眞澄(豊)  
杵築西 糸賀 幸夫(紀行)  
杵築西 戸山 武志(孝)  
杵築西 吉田 幸男(岩吉)  
杵築北 森山 由紀夫(浩子)  
宇 龍 浅津 千晶(昭人)

<斐川>

学頭 原 禮三(ヨシ子)  
学頭 原 道夫(爲一)  
莊原 植田 幸子(博)  
莊原 常松 正巳(保郎)  
莊原 青木 悦子(清)  
莊原 浅野 定道(初恵)  
三 絡 長谷川 幹夫(芳枝)  
求 院 藤川 昭信(高橋 清子)  
併 川 吾郷 正代(正弘)  
直 江 黒田 光治(スエコ)  
直 江 土江 政基(浩之)  
福 富 山根 艶子(敏郎)  
原 鹿 角田 幸広(茂)  
三分市 山根 善治(栄)  
三分市 常松 信光(清江)  
三分市 飯塚 誠司(龍雄)  
坂 田 長岡 博延(延夫)

<市外>

広島市 上田 武(美智子)

## 匿名寄付

16件

## ご寄贈

荘和会会長 稲田 清春  
磯遊木工湖陵工場

皆さまからのご寄附は、市内で福祉活動を行う団体及び  
各地区社会福祉協議会への助成などに使わせていただいております。

●出雲市社会福祉協議会に対する寄附は、住民税と所得税の控除対象になります。また、寄附者が法人の場合には、損金算入の制度が利用できます。

【例】出雲市にお住まいの方が本会へ50,000円の寄附をされた場合

※税額控除を選択した場合

〔1〕所得税 (50,000円 - 2,000円) × 40% = 19,200円

〔2〕住民税 (50,000円 - 2,000円) × 10% = 4,800円

〔1〕 + 〔2〕 = 24,000円 …… 税額控除額となります。

※一例であり、個々のケースにより控除額は変わります。詳しくは税務署等へお問い合わせください。

●「地区の社会福祉協議会へ寄附をしたが、市の社協だよりに掲載されていない」とのお問い合わせにつきまして、本会と各地区の社会福祉協議会は地域福祉の推進におけるパートナーであり連携して事業を行っておりますが、別の団体であることから、各地区社会福祉協議会に対する寄附はこの紙面に掲載しておりません。ご了承ください。



# 地域支え合いフォーラム

地域で支え合いの輪を広げるためのフォーラムを開催します。

- **日時**：10月16日(土) 13:30~16:15
- **場所**：スサノオホール (出雲市佐田町反辺1747-4)
- **内容**：第1部：講演「コロナ禍で考える“支え合い”の地域づくり」  
※第2部では、わがまちの支え合いについて皆で考えます。
- **定員**：250人 (先着順)
- **参加費**：無料
- **申込方法**：10月1日(金)までに、氏名・電話番号をご記入のうえ、メールまたはFAXでお申し込みください。

## 講師プロフィール

ご近所福祉  
クリエイター

さかい たもつ

酒井 保氏



1961年 広島生まれ。知的障がい者施設職員、社会福祉協議会福祉活動専門員、認知症グループホーム・小規模多機能施設の施設長職を経て、2014年8月に『ご近所福祉クリエイション』を創設(主宰)。講演・執筆活動を行っている。イラストレーターとしても活動中。

## 職員採用試験について

令和4年4月1日採用予定の職員採用試験を次のとおり行います。

- **職種**：事務職員(社会福祉士)
  - **人数**：若干名
  - **応募資格**：社会福祉士の資格を有する方(来春取得見込可)
  - **募集期間等**：令和3年9月17日(金)までに応募書類を総務課宛に郵送により提出。
  - **試験日・会場**：1次試験は令和3年10月3日(日)、2次試験は10月24日(日)ともに午前10時から出雲市社会福祉センターにて。
- ※応募される方は本会ホームページの募集要項をご覧ください。

問合せ先/総務課 ☎23-3781  
担当：新宮、石飛

## ボランティアきっかけ講座

ボランティア活動を始めるきっかけづくりや、ボランティア活動をより有意義なものとするために必要なことについて学びます。ぜひご参加ください。

- **日時**：10月27日(水) 13:30~15:30
- **場所**：縁結び交流館(出雲市浜町520)
- **対象**：ボランティア活動に興味のある方、現在ボランティア活動をされている方
- **内容**：基調講演およびグループディスカッション  
講師：日野ボランティアネットワーク 森本 智喜氏
- **定員**：40名(先着順) ● **参加費**：無料
- **申込方法**：10月15日(金)までに①氏名②所属団体等③電話番号をご連絡ください。

### ボランティアの仲間募集の情報をお寄せください!

ボランティア活動を希望する方に情報提供するため、ボランティア仲間を募集をしている団体の活動情報を募集します。活動情報は問合せ・申込先までお知らせください。

## 広報音訳ボランティア養成講座

視覚障がいのある方に、広報紙などをCDに録音して伝えるための知識と技術を学びます。

- **日時**：10月4日(月)から12月13日(月)(全11回)  
毎週月曜日 13:30~15:30
- **場所**：出雲市社会福祉センター(出雲市今市町543)
- **対象**：出雲市在住で、講座終了後は音訳グループに所属して音訳活動ができる方
- **内容**：発声・読み方など音訳の基本、パソコンを使った録音・編集の方法
- **定員**：8名(先着順)
- **受講料**：無料(ただしテキスト代660円程度が必要です)
- **申込方法**：9月17日(金)までに①氏名②住所③電話番号をご連絡ください。

「音訳ってどんなことをするの?」、「受講する前に少し体験してみたい」という方向けにミニ体験会を行います。8月30日(月)から9月10日(金)の平日に個別対応しますので、お電話でご予約ください。

問合せ・申込先/地域福祉課 ☎23-3781 FAX20-7733 メール fukushi@izumoshakyo.jp

※メールでのお問合せ・申込の際は件名をそれぞれ「地域支え合いフォーラム」「ボランティア講座」「広報音訳ボランティア養成講座」としてください。  
※当日は、マスクの着用、手指消毒、体温測定にご協力ください。発熱・咳等の症状がある場合は受講をご遠慮ください。なお、新型コロナウイルス感染状況により中止する場合があります。  
※手話通訳等の配慮が必要な方は、申込時にご相談ください。



出雲市社会福祉協議会連絡先

(窓口対応) 平日8:30~17:15



本所/〒693-0001 出雲市今市町543 ☑ fukushi@izumoshakyo.jp ホームページ https://www.izumoshakyo.jp/  
本所/☎23-3781 FAX20-7733 平田支所/☎63-4624 FAX63-5011 佐田支所/☎84-0131 FAX84-9034  
多伎支所/☎86-2331 FAX86-2351 湖陵支所/☎43-2310 FAX43-2226 大社支所/☎53-3196 FAX53-6053  
斐川支所/☎73-9330 FAX72-4068

いずも権利擁護センター ☎25-0955 FAX20-7733 生活支援課 ☎23-3790 FAX20-7733

### 高齢者あんしん支援センター

出雲/☎25-0707 FAX25-0901 平田/☎63-8200 FAX63-5011 佐田/☎84-0019 FAX84-9034  
多伎/☎86-7122 FAX86-2351 湖陵/☎43-7611 FAX43-2226 大社/☎53-3232 FAX53-6053  
斐川/☎73-9125 FAX72-4068

